

# 西南ゆりの会 20周年記念号



## 世界に翔く西南ウーマン



西南ゆりの会会長

吉田扶久子

(商商68期)

13  
号

西南学院大学女子同窓会  
(西南ゆりの会) 機関誌  
2005年12月1日発行  
発行人 吉田扶久子  
福岡市早良区西新6-2-92  
西南学院大学同窓会内

現在女子学生は、全体の59%を占めており、卒業生総数においても30%超を占めようになりました。文学部はもとより商・経・法学部においても半数近くを女子が占めている現状は、卒業後の就職を意識しての選択と思われます。地元福岡のみならず、全国、そして世界各地で西南ウーマンの大きい活躍が期待され、実績も認められているところです。

女子同窓生が各分野で培ったノウハウを、世代を超えてあとに続く同窓生のため地元福岡のみならず、全国、そして世界各地で西南ウーマンの大きい活躍が期待され、実績も認められているところです。

キリスト教ではゆりは精神的純潔、神聖、復活の象徴となっています。西南学院大学には全国で唯一の聖書植物園があり、聖書の地に自生するゆりも植えられています。

11月12日、20周年記念事業の一つとして、西南ゆりの会では、東キャンパス内のドーナツヤー記念館(来春オープン予定)の前庭に「ゆり」の球根を植えました。

来年は素晴らしい花壇となることでしょう。



「ゆり」

西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)は、本年20周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、ボランティアとして会の運営に惜しみない協力を続けてこられた役員の方々はもとより、大学関係者をはじめ多くの皆様方のご理解とご支援のおかげと心より感謝申し上げます。

さて、「白ゆり」13号は、20周年記念号といたしました。大学同窓会のご協力により、西南学院同窓会報に同封させていただくことで、初めて女子同窓生の皆様全員にお届けすることが出来ました。永年の願いが叶い本当に嬉しい限りです。

93年10月「白ゆり」創刊号は千部の発行からスタートし、厳しい予算の中で三千部まで増刷することが出来ました。しかし現在、女子卒業生はすでに約二万五千名に達しております、毎年一割程度の方々にしかお届けできない現状です。

今回初めてお手元に届いた方も多く思います。どうか事情をご理解の上お読みいただければと思います。そして、この「白ゆり」が同窓会の目的である相互支援とコミュニケーションの手段として、更なるネットワークの拡大に貢献してくれれば幸いです。

「博多ゆり」

福岡では、去る11月20日(日)までアイルランド花どんたくが開催され、「博多ゆり」が展示されました。鎌倉時代、中国から博多に伝來し日本へ広まつたといわれています。今では一部でしか見ることのできないもので、今回原種を探し求めて復活させた貴重なゆりの一種です。

## 西南ゆりの会創立20周年に寄せて



西南学院大学  
学長 村上 隆太

会長 富重 泰行

「ゆりの会」の創立20周年記念号の発刊を  
心からお喜び申し上げます。  
我が西南は一九一六年に男子の中学校とし  
て設置されその後専門学校が併設され、一九四  
九年よりは現在の大学をスタートさせました。  
今や女子学生の進出が目ざましく在校生の六  
割が女子学生であり全卒業生の三割にもあた  
る大勢の人々が各分野で活躍されています。  
皆様の益々のご精励をお祈りし我が同窓会

ゆりの会創立20周年おめでとうございます。  
西南学院大学の開学当初は、女子学生の数も  
ほんの僅かでした。その後の学部増設など本学  
の発展とともに女子学生数も飛躍的に増大し、  
今や全学生数の六割を占めるまでになりました。  
近年、本学女子卒業生の活躍は目覚ましく、教  
育職員、公認会計士・税理士、弁護士、ジャーナリ  
スト、官公庁での上級職や社長、重役などの実業  
家、ボランティア活動などで積極的に社会と関  
わっている方々、また美術、演劇、声楽

などの芸術家に至るまで、  
がありません。女子学生は  
就職も良く、優秀な女子卒  
業生が社会で高い評価を

得ていることは大学にと  
つて嬉しいことです。今後  
の女子卒業生の活躍にも  
一層の期待がかかります。

ゆりの会が、これからも  
女子同窓生の親睦と相互  
支援の場として、ますます  
のご発展を遂げられます  
よう祈念申し上げます。

今、女性が輝き始めた



## 西南ゆりの会20年の歩み

### 西南ゆりの会

### 世界・日本の女性

|            |                         |   |   |
|------------|-------------------------|---|---|
| 99.9.24-16 | 弦楽四重奏を聴く                | 86.3.29   | 発会式、第一回総会   |
| 98.9.27    | さよなら号館(ミサロン)            | 木村栄文氏のピアノ演奏   | 末永博子氏のピアノ演奏   |
| 98.6.20    | 訪問旅行                    | 母校教授による公開講座   | 母校教授による公開講座   |
| 98.11.28   | 秋のつどい                   | 講師／高橋さやか氏、大内和臣氏<br>講師／門田見昌明氏  | 講師／高橋さやか氏、大内和臣氏<br>講師／門田見昌明氏  |
| 99.7.24    | 秋のつどい                   | 母校教授による公開講座   | 母校教授による公開講座   |
| 99.9.30    | 秋のつどい(女子同窓生1万人突破記念)     | 講師／中村栄子氏、宮原哲氏<br>講師／木村栄文氏   | 講師／中村栄子氏、宮原哲氏<br>講師／木村栄文氏   |
| 97.9.30    | 秋のつどい                   | 91.11.16 秋のつどい  | 92.6.19 秋のつどい   |
| 98.6.14    | 三代会長に渋谷善子就任             | 92.11.26 秋のつどい  | 93.11.16 秋のつどい  |
| 98.11.11   | 秋のつどい                   | 93.11.19 桑原敬一氏及び在福岡航空会社代表<br>者によるパネルディスカッション                                  | 94.11.16 秋のつどい  |
| 99.6.28    | 講師／L.Kシード院長<br>講師／野村萬斎氏 | 94.11.26 母校教授による公開講座<br>講師／内海昌子氏就任  | 95.10.19 講師／及能正男氏<br>講師／山中耕作氏   |
| 99.11.27   | 訪問旅行                    | 95.10.28 本会通称を「西南ゆりの会」に決定   | 95.10.28 本会通称を「西南ゆりの会」に決定   |
| 99.12.28   | 秋のつどい                   | 96.11.13 青野詔子氏によるバイオルガン演奏   | 96.11.13 青野詔子氏によるバイオルガン演奏   |
| 99.12.28   | 秋のつどい                   | 97.9.23 「育児休業法」の改正(介護休業制度の法制化)<br>第4回世界女性会議－平等、開発、平和のための行動(北京)「北京宣言」及び行動綱領」採択 | 97.9.23 「育児休業法」の改正(介護休業制度の法制化)<br>第4回世界女性会議－平等、開発、平和のための行動(北京)「北京宣言」及び行動綱領」採択 |
| 99.12.28   | 秋のつどい                   | 98.6.27 「男女共同参画社会基本法」の公布、施行   | 98.6.27 「男女共同参画社会基本法」の公布、施行   |

- 85 「国籍法」の改正  
「男女雇用機会均等法」  
の公布  
家庭科男女共修化  
「女子差別撤廃条約」批准
- 86 「国連婦人の一〇年」最終  
年ナショナリ世界会議(西  
暦2000年に向けて)  
「婦人の地位向上のための  
ナイロビ将来戦略」採択
- 87 「育児休業法」の公布
- 88 「男女共同参画社会基本法」  
の公布  
家庭科男女共修化  
「女子差別撤廃条約」批准
- 89 「国連婦人の一〇年」最終  
年ナショナリ世界会議(西  
暦2000年に向けて)  
「婦人の地位向上のための  
ナイロビ将来戦略」採択
- 90 「育児休業法」の公布
- 91 「育児休業法」の公布
- 92 「育児休業法」の公布
- 93 「育児休業法」の公布
- 94 「育児休業法」の公布
- 95 「育児休業法」の公布
- 96 「育児休業法」の公布
- 97 「育児休業法」の公布
- 98 「育児休業法」の公布
- 99 「育児休業法」の公布

## 女性の連携を求めて出発



初代会長  
(86~91)  
由渡

20年前、現在のような

立派な会に成長するとはとても想像していませんでした。ピアニストの末永博子さんをお招きして天神・国際ホールで発会式を開いた事が昨日のようと思ひ出されます。何か小さくてもいい、西南出身者の女性の連携ができないものかと一步を踏み出した時の事です。やがて、公開講座と銘打つて本学の教授陣によるレクチャーもスタートさせました。同窓生で元チューリップのメンバー、財津和夫さんも快く講演をひきうけてくれたゲストの一人でした。今、あらためて多くの方々のサポートに感謝せすにはおれません。当時の田中会長や、高松会長をはじめとした同窓会本体など周囲からの支援、又、当時サンフランシスコ近郊に在住の大先輩、河野勤さん(高商7年卒)からの海を渡つての物心両面の大きいなる後押しはよちよち歩きの私共の会にとって、とても心強いものでした。会を通して多くの素晴らしい西南ウーマンに巡り合い、この会に関わったことを人生の宝として、幸せに感じています。



初代会長  
(86~91)  
由渡

## 大学募金のお願い

西南学院大学では、老朽化が進んだ大学チャペルの建て替えと、学外連携施設(P4参照)建設のために、

募金が行われています。募金事業も三年目となりましたが、目標額五億円には程遠いようです。母校のため、更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

(西南ゆりの会会長 吉田扶久子)

連絡先／西南学院大学学外連携推進室  
電話／092-823-3232



## 女子同窓会の経済的自立を目指して



前会長  
(96~02)  
渋田壽子

95年度の新入生から男女比が逆転し、女子学生の方が多くなり始めました。又、卒業生をとっても28%を女性が占めるに至り、在学生と合わせると二万人を超えるようになりました。ということは、西南学院大学の未来は女子の活躍如何にかかるところと言つても過言ではなくなつた訳です。

そこで、女子同窓生を元気づけるために、「女子同窓生二万人突破記念野村萬斎講演会」を開催しました。岡のシンフォニーホール(八〇〇席)で開催しました。NHKの朝ドラで人気沸騰中の萬斎氏でしたので、入場をお断りするのが大変なくらいの盛況でした。この様に大型の催しをするのには、もう一つの目的がありました。その益金で「白ゆり」の発行をやすることでした。やつとそれまでの千部を三千部にすることができました。

さらに98年度からは、ネットワークを広げる為に、名刺交換・新春のつどいの開催を、又02年には在学生の就職支援事業を始めました。

次々に事業が多くなり大変だったと思いますが、皆様のご協力ありがとうございました。

他にも委員から次々とよいアイデアが出され、実行に移されました。「西南ゆりの会」という通称を定めしたこと、機関誌「白ゆり」を創刊したこと等特記したいと思います。各人が仕事を持つたり、家庭の事情がいる中で、自分に出来ることは進んでやるという、この雰囲気はゆりの会の宝です。

皆様に支えられ、励まされながらの任期終了でしたが、六〇年近く生きた中で学ぶことが多く、ほんとに充実した四年間でした。ありがとうございました。

## 二〇〇六年「西南ゆりの会新春のつどい」のご案内

第八回を迎える新春のつどいを左記の通り開催いたします。詳細・お申し込み等は同封のチラシをご覧ください。お誘い合わせの上、ご来場くださいますようご案内申しあげます。

■会場／西南学院大学クロスプラザ2階  
■日時／二〇〇六年二月四日(土)午後2時より

■会費／二〇〇〇円  
レセプションホール

# キャンパス今昔

## 本館

4F 同窓会事務局  
2F 院長室、学長室、秘書課  
企画広報課  
1F 総務課、経理課、人事課、施設課



大学広報'88.1.30より

## 大学正門が完成

道路拡幅で古いも新たに



新しい掲示板も  
新号館側広場に設置

よかとビア開催にともない、道路が  
拡幅され、新しい正門が完成しました。



## 法科大学院



'03.4 中学・高校  
百道浜に移転



## 大学院



## キャンパス



本館前花壇



2号館横芝生

## 西南クロスプラザ



2F レセプションホール  
1F 食堂

## ドージヤー記念館(大学博物館)



(2006年5月開館予定)  
【福岡市指定有形文化財】

## 学外連携施設(2階建)

- ミニコンサートホール (200席)
- ギャラリー
- 会議室 (50名)
- 和室・茶室
- 同窓会など

(2007年4月開館予定)

※昔のキャンパスをセピア色の写真、現在をカラー写真で表しています。  
※大学では、中学・高校が百道浜に移転した跡地を東キャンパスとして整備中です。  
外観はすべてレンガ作りの近代的建物が並んでいます。クロスプラザやドージヤー記念館、学外連携施設(仮称)は、卒業生も利用できる素敵なお建物です。  
ぜひ一度訪れてみて下さい。

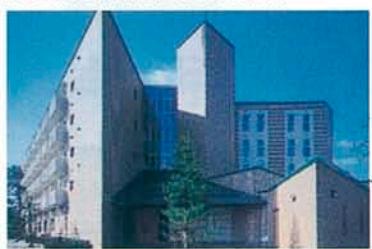
## 女子学生のための寮



女子寄宿舎(旧、神学科地行坂校舎)



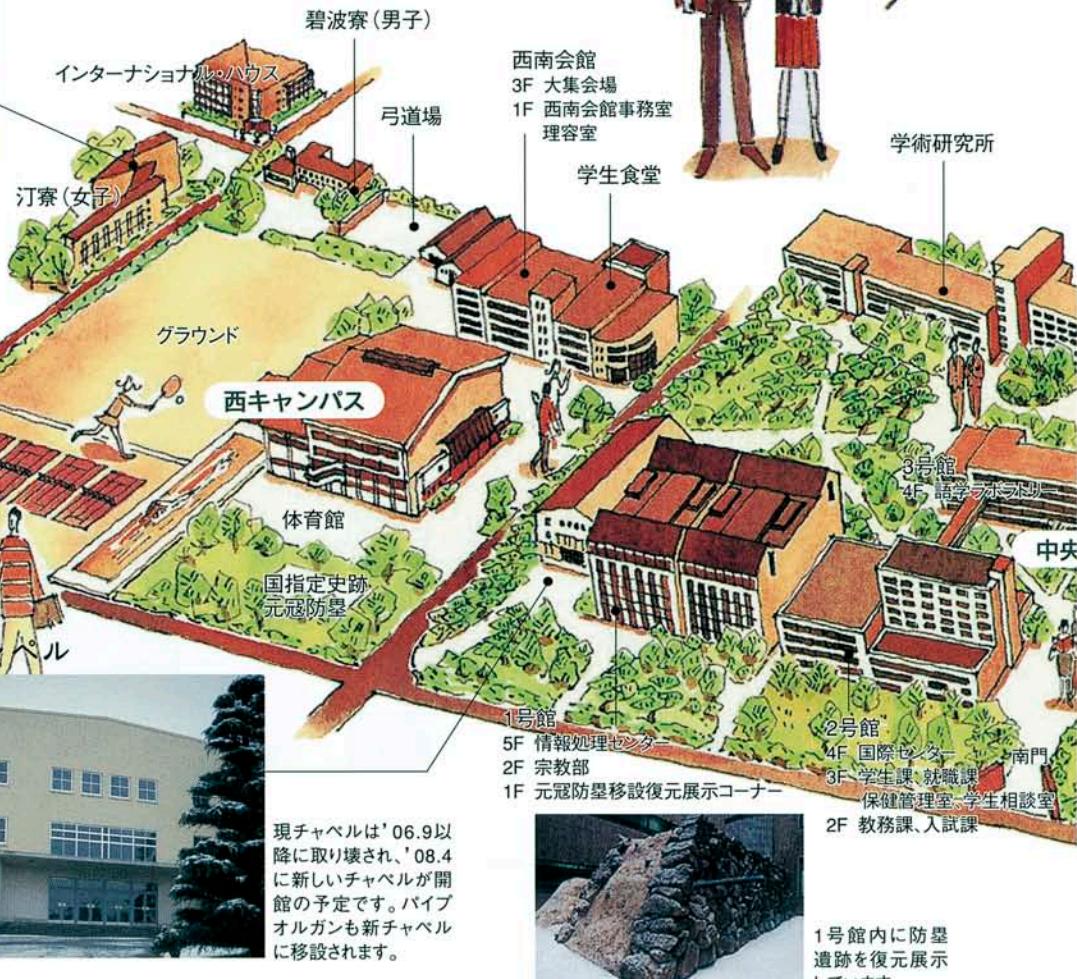
一妻寮



汀寮



寮生室は個室24、2人部屋28。2人部屋も中央で間仕切りがされておりプライバシーを重視した作りとなっています。



パイプオルガン

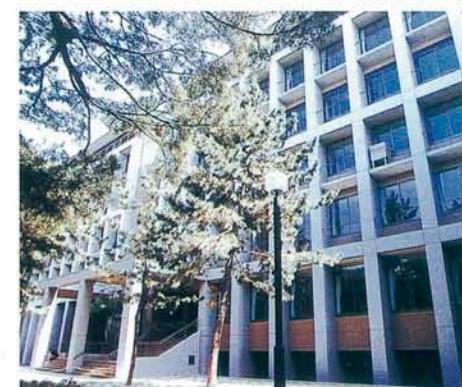


現チャペルは'06.9以降に取り壊され、'08.4に新しいチャペルが開館の予定です。パイプオルガンも新チャペルに移設されます。

## 思い出多きキャンパス



旧1号館



1号館(中央部は吹き抜けになっています)

## 先輩から後輩へ贈る働き方・生き方のヒント

第17回秋のつどいが04年10月27日、東キャンパス内に10月1日にオーブンしたばかりのクロスプラザ・レセプションホールで行われました。今回のテーマは「キャリアの軌跡～私の場合～：先輩から後輩へ贈る働き方や生き方のヒント～」でした。

在学生を対象にした催しとしては、02年の「私は就職戦線をこう戦った！！～先輩キャリアの経験談～」に次いで二回目です。当日は前回同様、様々な分野でご活躍の五人の卒業生にスピーカーとしてご出席いただきました。

古賀和子さん（文英81期・RKB毎日放送テレビ制作局アナウンス部副部長）  
小島須磨子さん（商商87期・福岡県庁企画振興部事務主査）  
波多江愛子さん（法法93期・弁護士）  
半田久子さん（外仏71期・税理士）  
山崎美知子さん（外英70期・地球緑化推進ボランティア団体役員）



各スピーカーの暖かい心からのメッセージは後輩たちに深く刻まれたことでしょう。

在学生を中心に会場にはご来賓、同窓生、一般の方々等約130人がご出席でしたが、「今からでも就職できそう！」という声も聞かれました。

ティータイム後の二部の自由懇談は五人の先輩ゲストをそれぞれ囲む車座形式でした。終始和やかな雰囲気で進められましたが、就業やボランティア等に関する質問に一つ一つエネルギーが込められた直接の回答は、後輩達に希望を持つてもらえたようです。終了後のアンケートに、感謝と次の開催を望む学生達の感想が多く見られました。

この秋のつどいは、読売新聞で五日間に連載された「隣人とともに」西南学院大のまなざし③で「女子同窓会、積極的に活動」「大学と社会の懸け橋に」という見出しで11月13日に大きく紹介されました。

●自由懇談



## 第二八回 ミニサロン

### お茶会 煎茶席も併せて

晴天に恵まれた04年11月6日、七隈にある福岡東洋陶磁美術館併設のお茶室で西南ゆりの会主催のお茶会が開かれました。

待合には、所蔵の酒井抱一筆雪舟之図を、本床には前大徳寺松月和尚筆「明歴々露堂々」を掛けさせて頂いて、薄茶席を設けることができました。亭主は高山和代さん、半東は筆者が務めました。

二席目は立札席で亭主を渋田壽子さん、後見を吉田扶久子さん、水屋を今井雅子さんが担当しての珍しい煎茶手前を見せて頂きました。

その後は、美術館の外の日本庭園を散策したり、展示中の古陶器を鑑賞したりして、まことに女子同窓会らしい雅びな一日がありました。

（外仏75期 桑野 綾子）



### 九州新幹線「つばめ」に乗って

「ゆりの会」のメンバー9人が、04年3月に開業したばかりの九州新幹線「つばめ」に乗って今年2月19日、親睦を深めるための一泊二日の鹿児島への旅に出ました。

目的地はかの坂本竜馬とおりょうが、日本で初めての新婚旅行に出かけたという妙見温泉。鹿児島中央駅から、その名も「やとの風」号を乗り継いで、100年の歴史をもつ無人の嘉例川駅に、熟女の一行が降り立ちました。

女性に人気の宿の一つ石原荘で浴衣に着替え、りりしい作務衣姿の若者によるお給仕のもと季節の料理に舌鼓、すっぴん素顔の交流を深めました。その晩は「ふとんの周りに集い、クライマックスを迎えた韓流ドラマに息をこらして見入った」という次第です。翌日、霧島高原で、予期せぬ霧氷に出会い、一同白ゆりのような澄んだ気持ちで帰りの新幹線に乗り込みました。

素顔のふれあいこそ最高のコミュニケーションです。

（外英76期 納富 昌子）



## 第七回 新春のつどい

### 地球環境をテーマの講演とバイオリン独奏



●講演中の岩間副学長

第七回新春のつどいが一月二十二日行われ、旧高校跡地に建てられた法科大学院で岩間徹副学長（法学部教授）による「地球環境、私たちにできること」の講演を聞きました。国際環境法の基本理念は二つあり、「持続可能な開発」と「世代間公平」です。特に世代間公平については過去の人々から継承した地球を現代の人々が守り、将来の人々に継承しようという趣旨でした。家庭などでできることなどイラストで書かれた福岡県作成の環境カレンダーも配布され、



●西和田ゆうさんの演奏に聴きいる

から継承した地球を現代の人々が守り、将来の人々に継承しようという趣旨でした。家庭などでできることなどイラストで書かれた福岡県作成の環境カレンダーも配布され、

毎日の日常の中での積み重ねからも始まるのだと改めて目を覚まされました。

講演終了後は場所をかえてクロスプラザ・レセプションホールで東京芸大出身でソリストとしてご活躍のバイオリニストの西和田ゆうさん（富重大学同窓会長の娘さん）が名器ストラディバリウスで「タイスの瞑想曲」などを演奏され、参加者一同その美しい音色にしばし酔いしましました。その後、懇親会が行われ、なごやかな歓談のひとときを過ごしました。

（商経76期 吉村 雅代）

## ひろば

### ○五年新春のつどい お申し込みから――

**白土 章子**（文英65期・川波）

家庭裁判所の調停委員や、ボランティアで北九州折尾公民館にて留学生に日本語を教えたりの日々を過ごしています。

**高口 勝代**（文英65期・杉野）

大学卒業以来、四〇年が過ぎようとしています。先日「ゆりの会ミニサロンお茶会」に出席させていただき、ゆったりした時間を作りました。

**大柳 則子**（文英71期・石津）

八八年から〇一年まで夫の仕事でアメリカのコロラド州デンバー近郊に住み、帰国後三年間東京、〇四年一月から主人の実家志摩町に住むようになりました。

**白水 京子**（児教74期・吉田）

親子で児教出身です（母は短大時代）。娘は昨年より地元の幼稚園で頑張っています。

**福田 三恵子**（文英75期）

卒業して早三〇年。最近やっと母校を思い出すゆとりができました。

**佐竹 涼子**（外英78期・熊本）

外国人の方に英語を教えるボランティアを愛宕浜公民館等でしています。五年目になります。

**手島 玲子**（法英79期・樋口）

大学近辺も大変変わり、驚くばかりです。

**永島 和子**（児教81期・吉竹）

西南大に導かれて初めてキリスト教に触れ、真理を求めて教会の門を叩き、二〇歳の時に洗礼を受けました。今、小郡キリスト教会に家族で通つて故郷小郡の人々にキリストの福音の種を蒔き続けています。感謝で一杯です。

**浦 元美**（児教85期・福田）

西南大に導かれて初めてキリスト教に触れ、真理を求めて教会の門を叩き、二〇歳の時に洗礼を受けました。今、小郡キリスト教会に家族で通つて故郷小郡の人々にキリストの福音の種を蒔き続けています。感謝で一杯です。

**白石 浩子**（外英85期・中隈）

卒業して早いもので二〇年以上が過ぎてしましました。息子がやっと西南学院中学一年生になれてほつとしているところです。

**池田マックマレン裕佳子**（外英95期）

前回のつどいに出席がかなわず残念でしたので、定期的にお知らせが届くと嬉しいです。

**羅 寧 玲**（法英00年）

現在、（有）サンテ通商の社長を務め、日本―中国の貿易に頑張っています。

**中村 蘭子**（外英03期）

韓流の到来により講演会の依頼をいたぐりになりました。まだ未熟な身ですが、様々な方法で多くの方々との出会いを楽しみに致しております。韓国関連の事は私まで！

つい数年前までは大学を訪れる二〇数年前にタイムスリップしたような気持ちになりましたが、最近は校舎も建て変わり始め、ちょっと寂しい気持ちです。

## 2004年度 西南ゆりの会収支報告書

(2004年4月1日～2005年3月31日)

## 1. 収入の部

| 項目       | 収入額       | 備考                               |
|----------|-----------|----------------------------------|
| 縁越金      | 21,776円   | 前年度縁越し                           |
| 同窓会補助金   | 400,000   | 大学同窓会からの活動補助金                    |
| 講演会等会費   | 273,000   | 秋のつどい・新春のつどい会費、ご祝儀<br>2,000円×90名 |
| ミニサロン会費  | 81,000    | お茶会会費 3,000円×27名                 |
| 収益金とりくずし | 460,000   | 西南ゆりの会主催コンサートの収益金より              |
| 雑収入      | 24,502    | 特別寄付金等                           |
| 合計       | 1,260,278 |                                  |

## 2. 支出の部

| 項目     | 支出額       | 備考               |
|--------|-----------|------------------|
| 講演会費等  | 448,868円  | 秋のつどい・新春のつどい費用   |
| ミニサロン費 | 150,031   | お茶会費用            |
| 慶弔涉外費  | 35,140    | 他大学イベント出席費用等     |
| 通信費    | 271,190   | 機関誌「白ゆり」発送費用等    |
| 印刷費    | 227,777   | 機関誌「白ゆり」、会封筒制作費等 |
| 会議費    | 28,593    | 役員会、委員会会場費等      |
| 寄付金    | 70,000    | サラマッポの会への寄付金等    |
| 雑費     | 4,402     | 事務用品等            |
| 縁越金    | 24,277    | 2005年度への縁越し      |
| 合計     | 1,260,278 |                  |

## 後編記

「人はひとりで、豊かにはなれない。人とつながってこそ、精神的な豊さを得られる。」この頃そんなあたり前のことばを反すうして

います。

家庭でも職場でも、同窓会活動でも、

巡り合った人々と、いかに、心豊かに連

カンパのお礼とお願ひ

## 2004年度 西南ゆりの会事業報告

(2004年4月1日～2005年3月31日)

## 1. 西南ゆりの会総会

日時 2004年6月11日(金)  
会場 ソラリア西鉄ホテル

## 2. 勉強会 テーマ「地上デジタルってなに？」

日時 2004年8月17日(火)  
講師 山内律子氏  
会場 ソラリア西鉄ホテル

## 3. 西南ゆりの会機関誌「白ゆり」第12号

2004年10月15日発行ならびに発送

## 4. 第17回秋のつどい キャリアの軌跡～私の場合

一先輩から後輩へ贈る働き方や生き方のヒント  
日時 2004年10月27日(水)  
会場 西南クロスプラザ レセプションホール

## 5. 第28回ミニサロン お茶会

日時 2004年11月6日(土)  
会場 福岡東洋陶磁美術館(城南区七隈)

## 6. 第7回新春のつどい

日時 2005年1月22日(土)  
講演 「地球環境、私達にできること」  
講師 西南学院大学副学長 岩間徹氏  
会場 西南学院大学法科大学院大講義室  
ミニコンサート バイオリニスト 西和田ゆう氏  
会場 西南クロスプラザ レセプションホール

## 7. その他 九州新幹線に乗ろう 鹿児島旅行

日時 2005年2月19日(土)～20日(日)  
宿泊先 妙見温泉石原荘 ガイド 砂田光紀氏

◆ サラマッポの会援助  
(フィリピンの女子学生に奨学生1名卒業まで)

◆ 役員会 毎月第3水曜日(昼と夜を交互に)

◆ 各委員会(広報・事業・名簿) 必要に応じて隨時

昨年度も多くの方々からカンパを頂き本当にありがとうございました。当会はいわゆる固定の会費徴収を行わず大学同窓会からの補助金(年額40万円)で運営されています。経常の活動費、秋のつどいやミニサロン等の行事関係、機関誌白ゆり三千部の制作費、郵送費等補助金だけでは到底まかないきれないのが現状です。皆様からのカンパ金のおかげでこうした活動が続けられていることに感謝し、温かいご厚志に心からお礼を申し上げます。

何卒事情ご質問の上、本年もカンパを切にお願いする次第です。お志のある方は一口千円(何口でも)お振込みいただければ幸いです。

なお、昨年度カンパして頂いた方のお名前を感謝とともに記させていただきます。万一手違いのためにお名前が洩れている方がいらっしゃいましたら、お手数でもご一報下さいますようお願いいたします。(会長 吉田扶久子)

郵便振替番号

01710-9-85645

西南ゆりの会宛

青山容子、赤岩喜代子、皆上敬子、阿部久満、網田翠、綾部せいこ、荒木真理子、有島徑子、井口紀子、石神美代子、石橋和子、伊藤萬里子、糸島西南会、井原絹江、伊原由美子、岩切裕子、上ノ土晴代、内海昌子、浦部ミドリ、江副史子、岡部葉子、岡村裕美、尾崎恵子、尾崎美子、桜島慶子、嘉村理実、河内光子、河野ユリ子、神田幸子、日下部千春、草場久子、楠原町、栗須由紀子、桑野綾子、黒岩絹代、小金井志保子、古賀敦子、古賀ミエ、児嶋まゆみ、後藤活子、小林美和子、小林洋一、佐藤このも、佐藤比佐子、渋谷壽子、下池涼子、庄野信子、白石浩子、白水心子、新谷昭子、末松和子、染谷多美子、高丘和子、高木真知子、高橋京子、高橋記代子、高見征子、高山和代、田代貞枝、立石智子、田中澄代、田中美樹子、谷穂子、辻隆子、鶴島晋、寺園峯子、土井光子、永倉雅、永谷美智子、永田治子、中野茂代、中里利子、西村万里子、忽滑谷美希子、納富昌子、野尻みな子、野見山哲子、蓮尾誠子、花田裕子、浜崎俊子、半田久子、日高聖子、平島みか、弘岡篤子、深町百合栄、藤井智子、藤井亮子、藤木規美子、藤沢侑子、星野佳代子、前田裕美、丸山稔子、宮崎朝子、宮崎孝子、森憲子、森永文惠、矢野多美恵、山内純子、山内律子、山崎美知子、山本壽子、吉武美智子、吉田敏美、吉田扶久子、吉田美枝子、吉村雅代、渡辺珪子